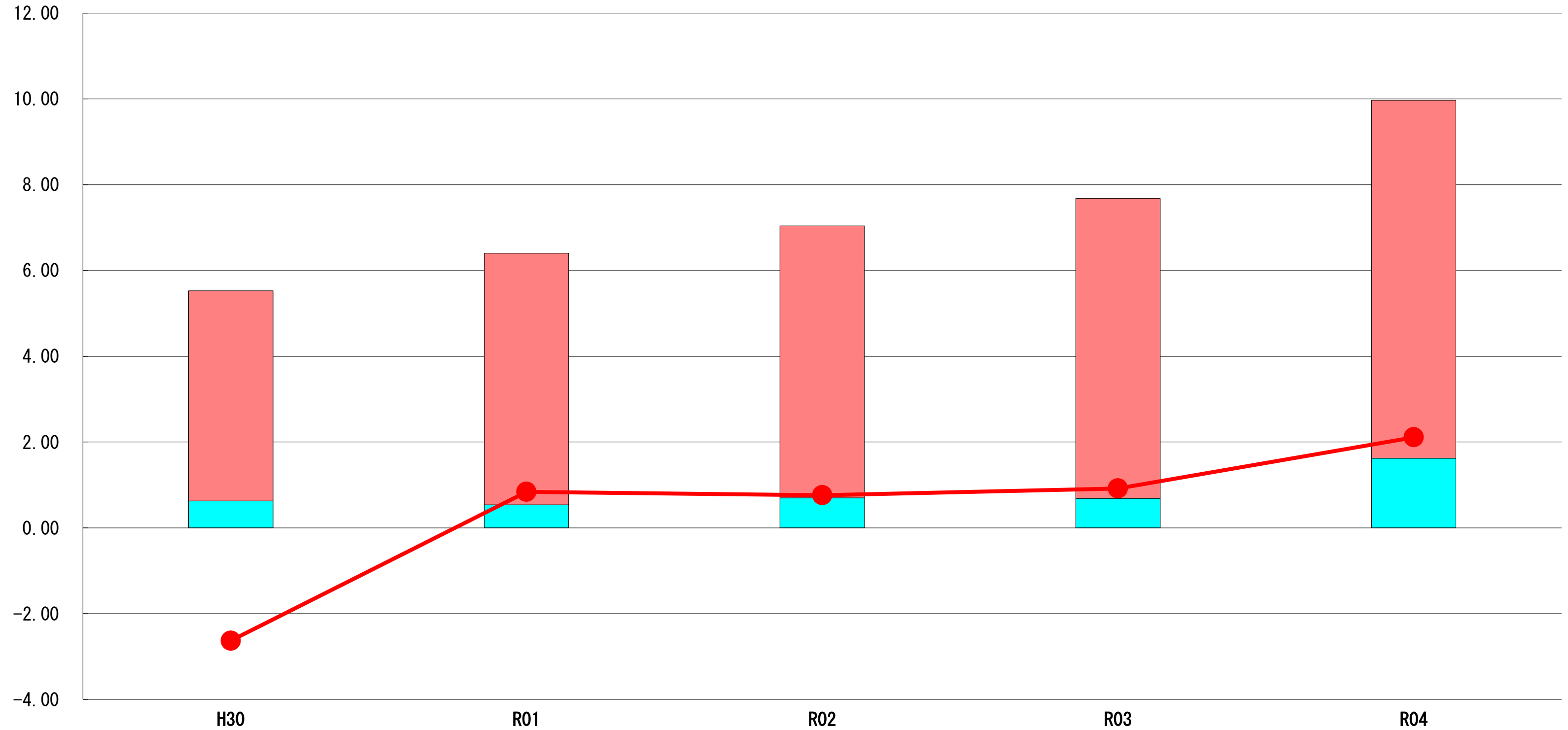


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）




令和4年度

愛媛県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		4.90	5.86	6.34	6.99	8.35
 実質収支額		0.63	0.54	0.70	0.69	1.62
 実質単年度収支		▲ 2.63	0.84	0.76	0.92	2.11

分析欄

歳出面では社会保障関係経費や新型コロナウイルス感染症のための経費などが増加したが、令和3年度の借換債の一部借入中止により一時的に増加した公債費が減少したことや、歳入面でも県税収入が増加したことなどから、実質収支は前年度より増となり、実質単年度収支も黒字となった。

また、財政健全化基本方針（H23～R4）に基づき、職員定員の適正化による人件費の抑制や事務事業の見直し、自主財源の確保など歳入歳出両面にわたる徹底した見直しを行った結果、財政調整基金を含む財源対策用基金残高については、平成30年度に西日本豪雨災害対応により352億円まで減少したものの、令和4年度末残高は491億円まで復元された。